

様式 3

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度第1回相模原市文化財保護審議会		
事務局 (担当課)		文化財保護課 電話042-769-8371(直通)		
開催日時		令和6年7月18日(木) 10時00分~11時30分		
開催場所		相模原市役所南区合同庁舎 4階 会議室1		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)		
	その他	2人(株式会社フジヤマ)		
	事務局	4人(生涯学習部長 他3人)		
公開の可否		可 不可 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		<p>(1) 相模原市文化財保存活用地域計画の本文について ア 序章~第3章の前回からの修正状況について イ 課題-方針-措置(取組)の全体概要について ウ 第7章(防災・防犯) 第8章(推進体制)の本文案について</p> <p>(2) 教育委員会文化財調査事業について</p> <p>(3) 天然記念物の指定等の在り方検討について</p> <p>(4) その他</p>		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり

議題（１）相模原市文化財保存地域計画の作成検討について

相模原市文化財保存活用地域計画について事務局から説明を行った後、質疑応答を行った。

ア 序章～第３章の前回からの修正状況について

○序章について

特に意見なし

○第１章について

（萩谷委員）１ - ３ページの最後のところで「鮮新世末～早期洪新世に形成された中津層群」という言い方をしているが、それ以前は全部上部中新世とか、中～下部中新世とか地層の呼び方を使っていて、最後だけ時代の話になっていて、どちらかに統一した方がよいと思うが、一般の人が中部とか上部などの層序の関係と時代との関係をイメージしにくいので、中～下部中新世は前期中新世など、前期・中期・後期の表現にまとめていただいた方がわかりやすい。

（山田委員）寸沢嵐が「すわらし」や「すあらし」と表記されている。

（事務局）バス停は「すあらし」、信号は「すわらし」になっている。長谷川先生の資料を見ると「すあらし」で、古い表記は「すあらし」が多い。地名については他にもいくつかあるため、ここだけを取り上げるといふことはしない方向である。

（内川委員）１ - １６ページの先史時代の写真について、もう少し写真をまとめたり、１ - １８ページのキャプションの間の文章を修正してほしい。

（事務局）他市の地域計画を参考に最終的に本文が固まった上で、レイアウトについても固めていきたく、今後修正させていただく。

（鹿野委員）１ - １０ページの大字の地図で、字名が入っていないところがある。

（事務局）原宿南の下のところが抜けてしまっている。旧城山町の北部はもともと川尻村で、川尻地区となっていたものが分断した形で「川尻」となっているので修正したい。

○第２章について

（山田委員）大正７年の柳田國男の内郷村調査については、わが国最初のフィールド調査として知られているのでそのことを入れて欲しい。

（事務局）前回の審議会でカタカナ言葉をやめたいという指摘を受けたため「我が国の民俗学における最初の組織的な実地調査」という形で入れさせていただいた。

（神崎委員）柳田國男に「氏」をつけて欲しい。

（事務局）了解した。

(内川委員) 2 - 1 ページの史前学研究所は大山史前学研究所に修正して欲しい。

(事務局) 了解した。

(内川委員) 内務省の柴田常恵についても入れた方がよい。

(事務局) 寸沢嵐旧石器時代遺跡のところに入れる方向で修正する。

○第3章について

(浜田委員) 3 - 2 2 ページ一番下の生活道具の民具資料については民俗資料とした方がよい。また3 - 2 6 ページの台地の歴史文化の「明治時代に入ると相模原都市建設区画整備事業が行われ」というのは何を示しているのかわからない。

(事務局) 昭和の間違いである。

(浜田委員) だとすれば「都市建設区画整理」である。

○全体について

(萩谷委員) 3 - 2 3 ページ(3) 下から2行目の「中津層」を「中津層群塩田層」に、「300万年」を「200万年前後」に修正して欲しい。

(事務局) 了解した。

(内川委員) 3 - 2 4 は本陣の記述があるので本陣の写真が入らないか。

(事務局) 本陣は「建造物」に入るので、集落の景観としての建物群の写真とした。

(鹿野委員) 表現として「本陣の周りに街並みが残っている」などとしてはどうか。

(事務局) 修正する。

(浜田委員) 3 - 2 7 ページの「宙水」は仮名を振った方がよい。

(神崎委員) 3 - 2 3 ページ(3) の「周知化」は別の言い方にしたほうがよい。

(事務局) わかりやすい表現にする。

イ 課題 - 方針 - 措置(取組)の全体概要について

(内川委員) 最初のページ課題8の方針部分の記念物に史跡が抜けている

(事務局) 名勝と天然記念物の指定があまり進んでいないアンバランスな状況を是正しようということで史跡を抜いている。

(内川委員) 史跡の保存管理についてはどうなるのか。

(事務局) 6番の整理活用の中での川尻遺跡や勝坂遺跡など、個別の保存活用計画がないため整備できない状況を是正する必要があるということで入れている。

当然、指定登録されていない遺跡についても指定登録や史跡にしていくことは必要になってくる。

(大崎委員) この表は文章になるのか

(事務局) 文章の書き方としては例えば7章のようにまず現状を示し、7 - 6 ページのように防災防犯における課題を文章化し、7 ページ以降に方針として、いつごろまでに実施するかアクションプランを表に示す形になる。

(大崎委員) 計画の進行管理をどのように進めるのか。

(事務局) 序 10 ページで進行管理について触れている。何ができていないか自己評価し、それをしっかり進める必要がある。

(山本委員) 財政面などを考えると、これから出していくものはできるものとできないものがあると考えられるが。

(事務局) 文化財の整備等においては実際に多額の費用がかかるものもある。今は考えうる限りで出し、市として財政的にできるのかなどについて、今後庁内調整を進めながら最終的なものを作り上げていきたい。

(神崎委員) 普及の担い手となる若い世代について、特に小学校は必ず入れていただきたい。

(事務局) 指導する先生方への支援について盛り込みたい。

(神崎委員) 地域間でお互いの文化財について知ってもらえる取り組みが欲しい。

(事務局) 普及事業によるシビックプライドやウェルビーイングを向上させる考え方を盛り込んでいる。また担い手づくりでは、新たな協議会の設置によってつながりを深めるような取り組みを盛り込んでいる。

(鹿野委員) 自治体間連携において、例えば宿場などキーワードになる文化財やその保存の仕方や活動の仕方などで、全然知らなかった地域の人同士がシンポジウムやフィールドワークでつながれるようにアピールすることが大事だと思う。

(山田委員) この資料はどのような表題になり、どのように取り扱われるのか

(事務局) 相模原祖文化財保存活用地域計画という分野別の行政計画として、ホームページなどで見られるようにしていく。

(山田委員) 教材として使われることはあるのか。

(事務局) 協議会でも学校教育の委員から学校の副読本として作れないかという話が出ているので対応できればと考えている。

(大崎委員) 女子美では秋の文化祭で「さがみ風っ子展」を実施し、市内小学生が図工で作った作品展示を行っている。昨年は3日間で8千人が訪れたので、例えば文化財に関連した発表会などが企画できれば、人材育成などに効果的ではないか。

(浜田委員) 近現代遺産の指定登録や地域遺産制度などはぜひ進めてもらいたい。

また、デジタルアーカイブについて、収蔵庫の問題、学芸員の人材育成などは、昨年改正された博物館法とも連動するので市としても強く押していただきたい。

ウ 第7章(防災・防犯) 第8章(推進体制)の本文案について

(鹿野委員) 取組表における実施時期や期間がわかりにくい。

(事務局) 序 10 ページに計画期間を入れている。最上位計画である相模原市総合計画については令和9年度で区切りとなり、令和10年度以降は次期総合計画に移行する。次期総合計画の計画期間はまだ未定であるが、9年間を見込んでおり、地域計画についても令和8年度以降、総合計画の計画期間に合わせた11年間の

計画期間の中で、前期・中期・後期の説明を盛り込みたいと考えている。
(鹿野委員) 7 - 7 ページ取組表の実施主体は二重丸ということだと思うが。空欄は参加しないということか。
(事務局) A 3 の一覧表 5 ページに凡例がある。空白の表記等については他自治体も参考に検討する。

議題(2) 教育委員会文化財調査事業について

- ・特に意見なし。

議題(3) 天然記念物の指定等の在り方検討について

- ・時間の関係から今回は方向性のみ説明し、継続検討とした。
また質疑・意見等については次回までに事務局あて頂くこととした。

議題(4) その他

- ・特に意見なし。

以 上

相模原市文化財保護審議会委員出欠席名簿

(令和6年7月18日開催)

No.	氏名	所属等	出欠席	備考
1	薄井 和男	中世美術史(彫刻) 元神奈川県立歴史博物館館長	欠席	
2	内川 隆志	日本考古学 國學院大學教授	出席	副会長
3	海老澤 模奈人	建築史(近代建築史) 東京工芸大学教授	欠席	
4	大崎 綾子	日本刺繍史、染織文化財(保存修復) 女子美術大学教授	出席	
5	鹿野 陽子	造園学(景観) 岐阜県立国際園芸アカデミー客員教授	出席	
6	神崎 直美	日本近世史 城西大学教授	出席	
7	萩谷 宏	地球科学(地質学・岩石学・地球史) 東京都市大学理工学部自然科学科・准教授	出席	
8	浜田 弘明	人文地理学 桜美林大学教授	出席	
9	宮本 太	植物分類・生態学 大学院専攻主任 東京農業大学農学部生物資源学科	欠席	
10	山崎 祐子	民俗学 一般財団法人宮本記念財団理事	欠席	
11	山田 正法	郷土史 元相模湖町文化財保護委員	出席	
12	山本 雅子	発生学、解剖学(動物) 麻布大学名誉教授	出席	会長

任期は令和4年10月1日から令和6年9月30日まで